

後袈裟丸山山行報告

【山行日】2023年 5月21(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 : 1100円

【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬、

飯野、植竹、大塚、小林、嶋田、福島

【コースタイム】岩舟支所 P5:30＝郡界尾根登山

口 P7:20/7:40～八重樺原 8:00/8:10～

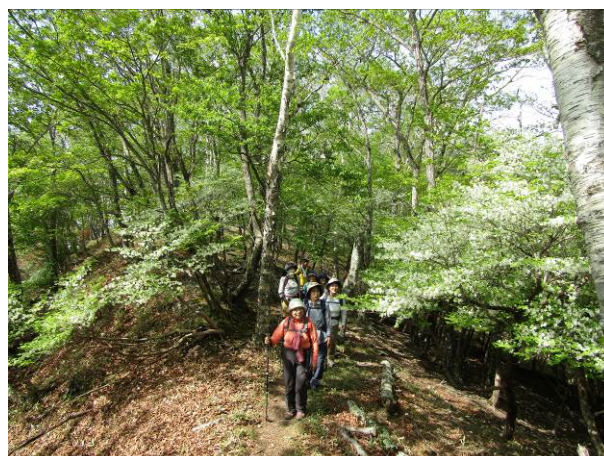
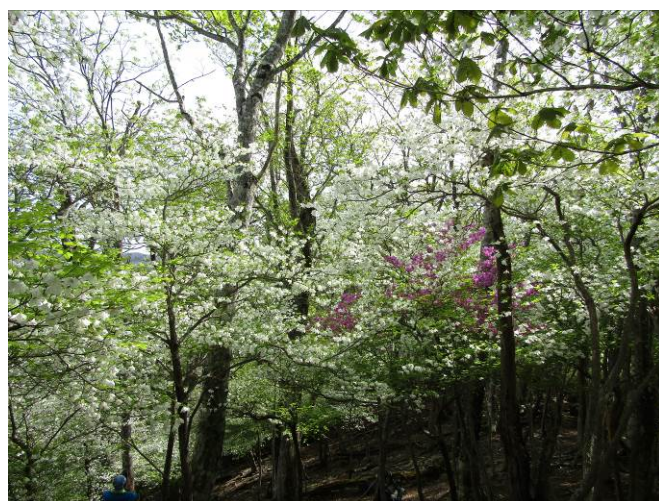
石祠 8:50～シロヤシオ群生地 9:10/9:20～

後袈裟丸山 10:30/10:50～シロヤシオ群生地

11:40/12:10～石祠 12:30～八重樺原 12:50～

郡界尾根登山口 P13:20/13:30＝道の駅「くろほね」13:55/14:10＝岩舟支所 P15:20

去年平日山行で計画して登ったところ、アカヤシオやシャクナゲの花が綺麗で好評だった。今年には皆さんに花を楽しんでもらいたいと思い、同じ時期に月例山行で計画した。



前日ネットで後袈裟丸山の報告を見ると、今年は花が凄いので駐車場が早い時間に満車になると書かれていた。

皆さんに出発時間を30分早くしますと連絡し、岩舟支所を5:30分に出発した。ところが、小中の信号を左折すると工事中で通行止めになっていた。仕方なく戻って下田沢の信号を右折し、県道沼田・大間々線を通り反対側から回り込むが、距離が長くなる上最悪の林道で二度と走りたくない道だった。何とか駐車場に着いたが満車で、かろうじて路肩に止

めることが出来た。車が止められれば一安心で、準備を整えストレッチを行なってから出発する。

登山口からいきなり急登が始まり、丸太の階段を登るとオレンジ色のヤマツツジが目飛び込んできた。ヤマツツジに癒されながら急坂を登り、丸太のハシゴを越えると八重樺原に着く。ここからは傾斜が緩くなり、ダケカンバやカラマツの新緑の中を爽快に歩ける。しばらく登ると右側に笹原が広がり、笹の間にワラビが顔を出していた。

ワラビを取りながら歩いて行き、一握りくらい採って袋に入れる。少しずつ高度を上げて行くとミツバツツジが沢山あったが、見ごろを過ぎて花がほとんど散っていた。今年は花の時期が早いのもう終わってしまったのかなと諦めたが、この先に登るとシロヤシオとミツバツツジの大群生地が現れた。



今まで見たことが無いような花の量で、皆さんから「ウワ～凄い！」と歓声が上がる。とにかくシロヤ



シオの花が多く、その間に紫のミツバツツジが鮮やかで感動する。初めて登る人たちは「来て良かった！」と大喜びしていたが、我輩もこれだけの花は初めての経験である。しばらくシロヤシオとミツバツツジのコラボが続き、高度が上がるとアズマシャクナゲの花も参戦してきた。アズマシャクナゲも花付が良く、今まで見たことが無いような鮮やかな姿で我々を魅了する。

段々傾斜がきつくなるが可憐な花に励まされ、

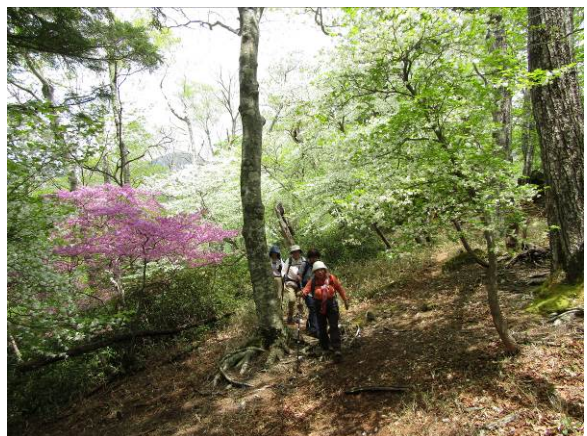
何とか急登を登りきり後袈裟丸山山頂に着いた。山頂でもアズマシャクナゲの花が出迎えてくれ、シャクナゲの花をバックに記念写真を撮る。花や景色を楽しみながらゆっくり過すと、大勢の登山者が登って来て狭い山頂は人で溢れてきた。場所を空けて次の方達に譲り、我々は下山開始する。下山は往路を戻り、花を楽しみながらゆっくり降りて行く。誰かが「ピ



ストンコースは綺麗な花を2度見られるからいいよね。下りは余裕があるのでゆっくり上から見られるのもいいよね。」と言っていたがその通りである。暖かい陽射しを受けて、より一層鮮やかに輝いているように見えた。シロヤシオの群生地でランチタイムとし、倒木に腰を下ろしお湯を沸かす。皆さんそれぞれお気に入りの場所に座り、カップ麺やおにぎりを美味しく食べていた。



これだけ素晴らしい花に囲まれて食べれば、何を食べても美味しくいただける。ここからも花・花・花のツツジロードを下り、無事登山口駐車場に着く。花三昧の山行に皆満足したようで、靴を履き替えたら帰路につく。途中、他の登山者にどの道を通って来たのか聞くと、小中の通行止めは迂回路があるとの事で小中に向かって林道を下る。通行止め箇所の1Km 位手前に「迂回路」の看板があり、直ぐに国道122号線に出られた。



途中、道の駅「くろはね」に寄り、トイレと買い物を済ませ予定より早く岩舟支所に帰着した。